



2024

学校だより **本荘** Smile

令和6年度 第45号
令和7年1月24日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

毎年、新年を迎えて考えること。それは、こどもたち一人一人の学力の向上についてです。

校長として、毎年、この時期に考えるのがこどもたちの学力向上です。学校では、授業改善をキーワードに子どもたちの主体的な学びを育てる授業づくりに取り組んでいます。しかしながら、先生方の日々の努力だけでは、学力アップに直結するものではないことはどの学校も同じなのです。やはり、学校の学びだけでなく、家庭でも主体的に学びへ向かうことが、将来的にも大切になってくると考えます。それで、家庭学習に関する資料を冬休みの間に探していたのです。下に掲載しているのは、新潟県教育委員会が出している資料です。

まず、家庭学習においては「家庭学習の開始時刻を決める、学習場所を固定する、学習量（時間やページ数など）を決めるなど、家庭学習のルールを決めることが重要です。」とあります。その他、ほめ方、励まし方、学習環境の在り方についても書いてありますので参考にしてください。（裏面に続きます） 資料：新潟県教育委員会HPより（QRコード参照）



学校と家庭が連携して子どもたちに確かな学力を！

変化の激しいこれからの社会を担う子どもたちに求められている力は「生きる力」です。その生きる力を支える知的側面が「確かな学力」です。この確かな学力の育成を目指して各学校で学力向上の取組が進んでいます。学力向上の取組は、学校だけの取組にとどまらず、学校と家庭とが連携して、一人一人の児童生徒が望ましい学習習慣を身に付けられるよう組織的、継続的に取り組むことが重要です。

- 学校においては、全校体制で授業改善を推進するとともに、家庭学習の習慣が確立されるよう、各教科で授業と関連付けた課題を提示したり、家庭での学習計画を立てる時間を設定したりして取組を進めています。また、メディアコントロール[※]等の取組をとおして家庭と連携した生活習慣の見直しを図るとともに、児童生徒一人一人の家庭学習の取組を点検し、個に応じた働きかけを行っています。
- 家庭においては、子どものやる気を育てる環境づくりを進めたり、望ましい生活習慣を定着させたりする取組が重要です。

※メディアコントロール：電子メディア（テレビ、ゲーム機、コンピュータ、携帯電話、スマートフォン等）のかわかり方を児童生徒自らが考え、使用時間を制限するなどして適切に使うことを意味する。

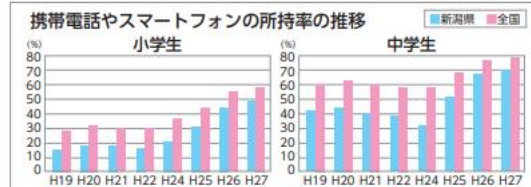
家庭学習

家庭においては、家庭学習の開始時刻を決める、学習場所を固定する、学習量（時間やページ数など）を決めるなど、家庭学習のルールを決めることが重要です。子どもに「やらされている感」を感じさせず、主体的に「やっている感」をもたせるためには、子どもの小さながんばりを見逃さず、ほめる言葉や励ましの言葉をかけながら、根気強くサポートしていくことが大切です。また、学習時間になったらテレビを消したり、音を小さくしたりするなど学習に集中しやすい環境づくりを行うことも大切です。保護者も一緒に読書をするなど、子どもが学習に集中しやすい雰囲気づくりを進めましょう。

携帯電話やスマートフォンの適切な使用を

本県の携帯電話やスマートフォンの所持率は年々増加傾向にあり、多くの児童生徒への働きかけが必要です。携帯電話やスマートフォンの過度の使用は、家庭での生活リズムの乱れにつながります。

家庭においては、各学校を通じて配付されたリーフレット「スマートフォン等使用推奨ルール」を参考に、子どもと一緒に話し合い、使用時間を約束するなど適切な使用方法についてルールを決めることが必要です。ルールを部屋に掲示するなどして、定期的に確認しましょう。



睡眠は大切

子どもにとって睡眠は、心身を休息させて疲れをとると同時に体をつくり、脳を発達させる大切な働きをもっています。睡眠中に学習や経験した記憶を整理して定着させているのです。

理想的な睡眠時間は、小学生低学年で9～10時間、高学年で8～9時間といわれています。中学生でも8時間以上の睡眠時間が理想的でしょう。朝6時に起きるのであれば、22時までに就寝する必要があります。



家庭での望ましい生活習慣づくりに向けて

帰宅から就寝までの間にどれくらいの時間があるか、お父さんと一緒に振り返ってみましょう。

(例) 18時に帰宅する中学生の例
夕食の時間までに宿題をすませ、20時から21時までを自主学習の時間、就寝までの30分間を読書の時間とすることで、合計2時間程度の家庭学習の時間を確保することができます。

また、このように帰宅から就寝までの間にどれくらいの時間があるか考えてみることで、電子メディア（テレビ、ゲーム機、コンピュータ、携帯電話、スマートフォン等）に費やす時間を制限しなければならないことが分かります。



また、携帯電話やスマートフォンの使い方、睡眠の大切さ、家庭での望ましい環境づくりについても言及してありますので参考にしてください。ただ、あくまで概論的なことが書いてありますので、具体的にどうしたらよいかというお悩みがありましたら、担任もしくは校長、教頭までお尋ねください。私たちが一緒に考えていきますので、連携をしていきましょう。(校長)

校長先生の虫眼鏡 「自主学習ノートの事例について」

現在、いろいろな県市町村で教育委員会が様々な事例を紹介しています。参考にしてください。左下は熊本県教育委員会の事例、右下は、埼玉県深谷市教育委員会の事例です。

自主学習ノートの参考様式例について

※これまで様々な学校から提供いただいた取組事例で、自主学習について記載されたものの特徴を取り上げて整理し、まとめたものを紹介します。なお、ここでは、子供が主体的に行う「自主学習」は、学校から出される「宿題」とは別のものとして示しています。

・計画的に学習することになります。
・後からノートを見返すときに役立ちます。

・自分が達成したい目標に向けて、学習の見直しをもつことにつながります。

・一人一人の学習状況に適した内容を行うことが、主体的な学習習慣形成につながります。

日付、時間(始めた時刻、終わった時刻)	※自分に必要な学習や興味のある学習
めあて	
※自分に必要な学習や興味のある学習	
小学校低学年 ●基礎的・基本的な内容を中心に、学習習慣の形成を行います。 小学校中学年 ●授業で難しかったところや自分の苦手なところを自分で判断し、再チャレンジしましょう。 ●資料を使った調べ学習にも取り組みましょう。	小学校高学年～中学生 ●自分に今必要な学習は何かを考え、計画的に取り組みましょう。 ●複数の資料を使って、調べまとめる学習にも取り組みましょう。
	まとめまたはふりかえり

・学習した内容が身に付いたかを自分の言葉で整理することで、深い理解につながります。
・取り組んだことの価値や成果、新たな課題を自覚することができます。

大切なことは、

子供自身が学習内容を判断・選択し、計画的に取り組むこと。
授業と家庭学習をつなげること。
教師が適切に見取り、評価すること。

自主学習の内容については、子供の発達段階を踏まえて、基本的な「読み・書き・計算」だけではなく、子供たちが自身が興味のあることを調べたりまとめたり、学習内容を判断して選択できる工夫をすることが大切です。
また、子供たちが家庭でも学習したくなるような授業を行ったり、授業中に教師が家庭学習につながる声かけをしたりするなどして、能動的に学び続ける子供を育てましょう。

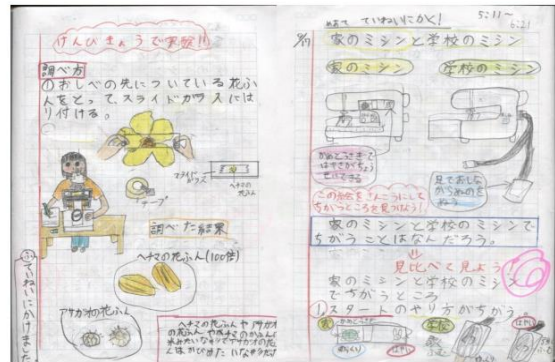


家庭学習の充実に向けて - 熊本県ホームページ (pref.kumamoto.jp)

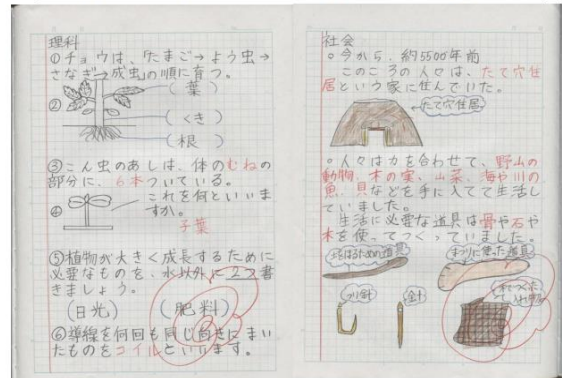


家庭学習応援サイト - 深谷市教育委員会 (education.fukaya.saitama.jp)

みてみて！家庭学習ノート【大寄小学校】



5年生...学校で学習したことをもとに、図や絵を入れてわかりやすくまとめています。メモなども加えて自分から進んで楽しみながら学習しているようがわかります。



6年生...文字や絵がとてもいいのでわかりやすく書いています。大事な言葉は赤文字にしたり、ふきだしでかこんだりしてまとめてとても整理されています。

